

NPO法人 町田ハンディキャブ友の会

〒194-0013 東京都町田市原町田4-24-6
第64号 発行責任者 石井 章夫

Tel: 042-721-5721 Fax: 042-721-6605
発行日 2023年3月15日

町田ハンディキャブ友の会は設立40周年を迎えました



40周年感謝のつどいを終えて

理事長 石井 章夫

当時車いす生活であった関根久雄さんの、「自由に外出したい」の一言で始まった町田ハンディキャブ友の会の活動はこのたび40周年を迎えることができ、2月26日(日)レンプラント東京町田において「設立40周年感謝のつどい」を開催しました。

感謝のつどいでは、40年のあゆみをスライドで紹介し参加者から思い出や感想をいただき楽しく進められ、閉会の挨拶で発足当時から事務局を担ってきた高橋池鶴子副理事長から「40年間活動できたのは皆様のおかげ」と感謝の言葉を述べ盛会のうちに終了しました。

これからも町田ハンディキャブ友の会は、休むことなく移送サービス・バリアフリーマップ作成を続けていきます。

現在、町田市では地域でボランティアによる移送サービス活動が行われています。その団体とともに町田ハンディキャブ友の会も町田市の移送サービスの発展のために活動を進めてまいりますので、引き続き皆様方のご協力ご支援をよろしくお願いたします。

「安全で安心して利用できる移送サービス」を目指して

40周年 感謝のつどい

2023年2月26日(日)、レ

ンブランドホテル東京町田において、「町田ハンディキャブ友の会設立40周年感謝のつどい」が開催されました。正会員を始め、賛助会員、利用会員、運転協力員、関係団体の皆さまなど総勢約50名の盛大な会となりました。

第一部の式典では、理事長挨拶の後、来賓に町田市代理副市長榎本様、町田市議会議長戸塚様、町田市社会福祉協議会会長鈴木様、町田市議会健康福祉常任委員会委員長石川様、町田市地域福祉部長中村様をお招きし、お祝いの言葉をいただきました。



松本副理事長による進行

第二部の懇親会では、町田市を拠点に活動する女性アイドルグループ「まちだガールズクワイア」の皆さんによる、歌の余興がありました。美味しい食事と綺麗なハーモニーに、参加者はお腹も心もいっぱいになりました。

懇親会の後半では、「写真で綴る40年」と題し、町田ハンディキャブ友の会の40年をスライド写真で振り返りながら、当時の思い出などを参加者に伺いました。盛会のうちに「感謝のつどい」は終わりとなりました。ご参加いただいた皆さまありがとうございました。



小竹理事による乾杯



思い出話に会話がはずみます



まちだガールズクワイアによる華麗なハーモニー♪



美味しい料理に舌鼓



当時の思い出を語る
下村健一さん



写真で綴る40年史



素敵なデザインの一冊となりました

また、町田ハンディキャブ友の会設立40周年に合わせて、「40周年記念誌」を作成しました。内容は「写真で綴る町田ハンディキャブ友の会40年史」「あの日のあの時ふりかえってみれば（会員等からの寄稿）」など思い入れのこもった一冊となっております。お求めの方は、事務局までご連絡ください。



高橋副理事長
閉会の言葉



渡部実行委員長

ドライバーのつれづれ日記



社会的活動



鈴木 賢一

私は20年ほど前に町田に移り住んでから、30年以上続けている自営の建築の仕事が大きく減って暇になり、社会的活動を始めました。

最初は援農で農作業を手伝って、帰りにはね出し野菜を沢山頂きました。ヘルパーの資格を取り、パートで介護タクシーの乗務を1年余りしました。

ハンディキャブとの出会いは、2007年7月の広報であいちゃん号の運転手募集を見て、介護タクシーの経験を生かせると思い応募したのが始まりで、今は月に1度の土曜日の乗務を続けています。

その後に社会的活動は、福祉的建築を目指すすまいの会、蒸気機関車D51保存会、介護予防サポーター、せりがやと鶴川の冒険あそび場、2つの子ども食堂、認知症カフェ、鶴川地区協で映像鑑賞勉強会に広がっているが、コロナ禍や親の介護で忙しくなったこともあって、休止や縮小をしています。

今年62歳なので、まだまだ仕事も社会的活動も続けて、いろんな出会いと経験を積んでいきたいと思っています。

都知事感謝状授与

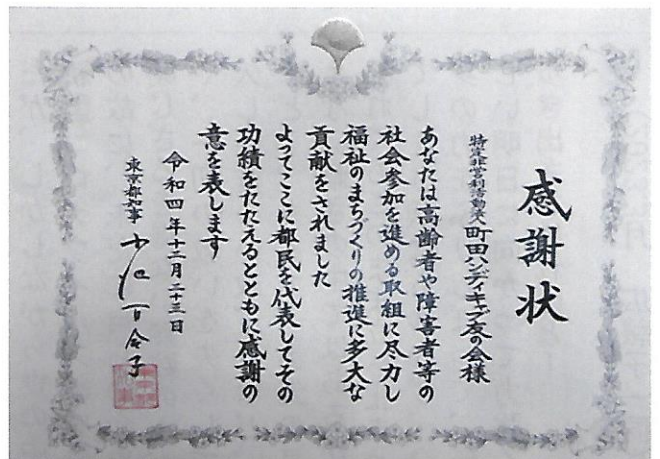
2022年12月23日（金）、

東京都庁において第71回東京都社会福祉大会が開催されました。この大会は「東京都の社会福祉の発展に功績のあった社会福祉関係者を表彰し、感謝の意を表する」を趣旨として、約200の個人及び団体が受賞しました。当会も「特定非営利活動法人町田ハンディキャブ友の会は、1983年の会発足から、福祉輸送の実施やバリアフリーマップの運営等を通じて、移動困難者を始めとする市民の外出機会

の拡大に貢献して」いるとして、東京都から「福祉のまちづくり功労者に対する知事感謝状」を拝受しました。



東京都社会福祉大会



福祉のまちづくり功労者に対する知事感謝状

新人ドライバー紹介

大谷 猛



6月に閉店しました。それから
て「美容室竹取物語」は昨年
コロナのパンチをまともに喰

1か月後、後片付けが済んだこ
ろ、友人の露崎君からアルバイ
トとしてやってみないか誘われ
たのが、このハンディキャブの
お仕事でした。
まるっきりの畑違いの仕事も
おもしろいかなと思い、面接を
受けてからはトントン拍子に話
が進み、11月からは、やさしい
仕事から始めて、スタッフや同
僚の皆様の温かい雰囲気に見守
られて、徐々に仕事に慣れてき
たこのごろです。

これからもゆっくリズムの安全
運転で、卒業までの残り1年と
少しを会員の皆様方に少しでも
お役に立つ様に頑張っておし
ていきたいとおもっております。
どうかよろしくお願ひ申し上げ
ます。



(2023.3月 広報子一同)

***** シリーズ・ことば *****

名詩への旅

季節の詩(うた)

浅き春に寄せて

立原道造

今は 二月 たったそれだけ
あたりには もう春がきこえてみる
だけれども たったそれだけ
昔むかしの 約束はもうのこらない

今は 二月 たった一度だけ
夢のなかに ささやいて ひとみはない
だけれども たった一度だけ
その人は 私のために ほほゑんだ

そう！ 花は またひらくであろう
そうして鳥は かはらずに啼いて
人びとは春のなかに 笑みかはすであろう
今は 二月 雪の面(おも)につづいた
私の みだれた足跡……それだけ
たったそれだけ——私には……



(「日本の名詩」大和書房
——Nabe. 選)

《編集後記》

2023年の綴帳が上がった。

ハンディキャブ友の会にとつて、今年創立40周年を迎えての記念式典を、会を支えていただいている皆さん(ご来賓の方々を含めて)と一緒に開催し、同時に節目の記念誌を発行することのできた大事な年明けである。

新しい年の、まぶしいほどの陽の光を全身に浴びながら歩き出せればと思うのだが、しかしながら世の中、新型コロナウイルスの感染の故に、未だに自らの命を閉じざるを得ない無数の人々や、一切の救いを失くして久しい貧しい政ごとなど、など…。まるで一步先の見えない暗さの中ではあるが、それでもこのまま立ち止まってしまう訳にもゆかず、全身の力をふりしぼって、新しい明日に向かって力強く歩き出さなければと！